

令和2年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

第3学年

教科	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の達成率は、53%であった。語彙が少ないため、慣用句や耳慣れない言い回しを理解したり、新出漢字を適用したりすることが難しい児童がいる。 <p style="text-align: right;">【知識・技能】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初に分からない言葉の意味調べに取り組んだり、新出漢字の学習の際に様々な言葉を取り上げたりすることで、語句に触れる機会を増やし、語彙を広げていく。同時に、小テストや宿題を通して漢字の定着を図る。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の達成率は、75%であった。学習問題を意識し、社会的事象を様々な条件と関連付けて考えたり、それを言葉で表現したりすることが難しい児童がいる。 <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の経験や実地調査を分かりやすくワークシートに表すことを通して、身近なところから、学習問題を見出すことができるようにさせる。表や図を活用して、様々な条件を区別して示すようにし、比べて考える素地を養う。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の達成率は、88%であった。見通しをもち、筋道を立てて問題解決を図ったり、計算の意味や仕方を説明したりすることが難しい児童がいる。 <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容を確認し、算数的活動や具体物を用いた活動を取り入れ、児童が学習の見通しをもてる授業展開にする。言葉や式・図などを用い、自分の考えを表現する機会を多くもたせ、計算の意味を捉えながら問題に向き合えるようにさせる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の達成率は、78%であった。実験や観察から分かったこと、考えたことを、実際の用語や部位と結び付けることが難しい児童がいる。 <p style="text-align: right;">【知識・技能】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察カードや考察の交流を通して、学習材の着目すべき特性や特徴がより明確になるような授業展開にする。その上で、実物や映像資料を活用して、その特性や特徴と用語を比べ合い、共通点等を結び付けていくことで知識としての定着を図る。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の中で、自身やグループの課題を見付けることが難しく、運動を工夫して取り組むことができない児童がいる。 <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに見合ったり、タブレットを活用して運動の様子を客観的に見たりする機会をもたせ、よりよい動きへ高めていく。解決方法を言葉で表現できるよう、話し合いの場やカード等を活用する。